

# 令和3年度学位記授与式学長告辞

九州工業大学長 尾家 祐二



本日、ここに令和3年度の学位記授与式を挙行できますことは、本学にとりまして大きな喜びであります。栄えある門出を迎えられました皆さんに、まずもってお祝い申し上げます。また、この日まで卒業生・修了生を物心両面から支えてこられました保護者、御家族の皆様のお喜びはひとしおと拝察し、衷心よりお祝い申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大によって、2年余りの間に、4億人以上の人たちが感染しました。感染症が広がりはじめた2020年3月には、感染症の影響拡大を考慮して、令和元年度（2

019年度）学位授与式を中止致しました。その後、感染症は収まっては、再び拡大することを繰り返しています。本学においても、これまで、皆さんは感染防止に配慮し多くの制約の中、学習や研究活動を行い、様々な苦勞をされたことと思います。そのような中において、今日の学位記授与式を迎えられました皆さんに、深く敬意を表します。

私たちは、困難な状況においても、学ぶことができます。コロナ禍の中でも学べることは多くあると思います。中でも、人の命の尊さ、健康の大切さについて改めて考える機会にもなりましたし、日々の暮らしの中にも改めて大切なものを見出したのではないのでしょうか。また、グローバルな視点として、世界経済フォーラム（WEF）による、世界が抱えるリスクに関する2022年版の調査結果を参考にすると、経済問題よりも社会問題、環境問題に強い関心が

示されています。そして、社会問題としては、「社会的結束の低下」がグローバルリスクの上位に挙げられています。人類はこれまで社会の中で学び、成長してきました。社会的結束の低下を大きなリスクと捉え、多様な交流の重要性について、改めて認識することは大切であり、分断や孤立ではなく、より一層個々の違いを認め合う社会になることを願います。

それらに基づき、限りある知恵を用いて判断し、実行しなければなりません。

これまでコロナ感染者への対応や、拡大を防ぐための措置、ワクチン接種など様々な取り組みが行われてきました。ウイルス変異株の出現もあり、感染が収束するにはまだ至っていません。私たちが生きるこの時代は、グローバル化が進展し、技術革新が目覚ましく、それらの社会への浸透が加速する中、しばしば「VUCA」（不安定（Volatility）、不確実（Uncertainty）、複雑（Complexity）、曖昧（Ambiguity））という言葉で特徴づけられていました。そして、今回の感染症の世界的な拡大によってより一層、不安定性、不確実性等が増しています。現状に関してさえ、未来についてはさらに、不完全で十分ではない情報しか得られない中で、

ここで、心理学者で文化庁長官も務めた河合隼雄氏の対話を思い出します。それは、アメリカ先住民ナバホにおいて、ある重要な役割を果たす人（シャーマン）の条件に関することです。その条件は、「その人が、Honesty（謙虚であるということ）、Believe in Myself（自分を信じること）」だと、紹介していました。このことは、その特別な役割の人に留まらず、今の私達にも当てはまると思っています。現在及び未来において、不確実な状況に対応するためには、まさに謙虚であり、自分を信じることで、より一層大切になると思います。私たちは、できる限り多くの情報と知恵を集め、決断し、実行しなければなりません。そして、その際には、現状及び実行による影響を想像し、責任を意識し、自信を持って実行することが大切です。自信を持って行うことにより、それを理解した人たちの協力を得ることもできるでしょう。ただし、情報や知恵が十分ではない場合には、最適な行動が取れる

とは限らず、実行後に軌道修正が必要になる場合もあり得ます。その際は謙虚にそれを認め、修正しなければなりません。すなわち、自信と謙虚さを兼ね備えることが重要になると思います。さらには、今回のコロナ禍を経験し、今後、責任感を持ち、自信と謙虚さを兼ね備え、変化に柔軟かつ積極的に対応する人が育つために、社会が一層、失敗、修正に寛容になっていくことを期待します。

最後になりますが、皆さんが、九州工業大学における多くの良き出会いを財産として、この変化に富んだ時代の中で、生活を楽しみ、多くを感じ、考え、学び続け、活躍されることを祈念し、皆さんの栄えある門出を心から祝福申し上げ、告辞と致します。本日は、誠にありがとうございます。

(参考)

1、世界経済フォーラム

World Economic Forum, "Global Risks Report 2022, 17th Edition," 2022.

<https://www.weforum.org/reports/global-risks-report-2022>

2、河合隼雄、吉本ばなな著「なるほどの対話」新潮文庫、2005。

## 学位記授与式 式典スナップ



尾家学長 告辞



高原会長 祝辞



会場の様子



メンネルコールによる学歌斉唱



会場前で記念撮影をする卒業生たち

